

# 聴く 動く 常任委員会

見て・聴いて・考えた



## “よりいいまち”のため

各委員会では、それぞれテーマを掲げて調査・研究に取り組んでいます。

### 調査レポート



見て・聴いて・考えた

## 調査研究



町議会HP 委員会構成

10月に行った視察研修についてお知らせします。



### 総務経済常任委員会 有害鳥獣対策 (調査日10月23日)

#### 野生鳥獣を寄せつけない、防護する、追い払う

**秩父市** 農作物被害が減少

秩父市の野生鳥獣による農作物被害は、平成20年度の3789万円をピークに、28年度は1279万円と減少。対策のポイントは、①被害状況の把握、②正しい知識の取得、③農家と行政の情報共有と意識改革が挙げられました。

人を怖がらなくなりエサがあるため、野生鳥獣が人里に出没することから、隠れ場となる耕作放棄地や竹林、エサとなる放任果樹や放棄野菜などを点検。問題点を地図に書き込み、情報を共有化して防除手法を模索とのこと。また、地域全体で取り組み、



「野生鳥獣の生態に精通した職員」がいる秩父市

「寄せつけない、防護する、追い払う」など、捕獲のみではなく効果的な対策をとり、電気柵等を活用した防除により、意識が変わってきたということです。

#### 議員の感想(つづやき)

- ・成功例を知らせること、野生動物に安心と安全を与えないなど、町と地域は連携していくことが重要だと思う。
- ・現場はそれぞれ違う。現場を知り住民の信頼を得ることで、地域と一体となって事業が進む。
- ・正しい知識をもつことと、有効な方法を取れば必ず効果が上がると思う。

#### 町民からひとこと



**杉山 隆さん (桜沢)**  
私たちは29年度の害獣駆除でイノシシ64頭を捕獲しました。クラブ一同がんばりますが、山間部の農家の皆さんには電気柵の設置をお勧めします。効果的です。(寄居大物クラブ代表)

#### 子育てを支援するネウボラ(\*1)事業とは

**秩父市** 子育て家庭を支える切れ目ないサポート

保健センター内に子育て世代包括支援センターを開設し、保健師、栄養士、助産師を配置。妊娠前から関わりを持ち、妊娠中・産後は面接や家庭訪問し、サポートをしています。

乳幼児健診には多職種のスタッフが関わり、個別相談や教室も実施して母子を支援。就園後のフォロー事業も設け、妊娠前から妊娠・出産や子育て期にわたる切れ目のない支援を実施しています。

**鶴ヶ島市** 不安・孤立感を和らげ、子育ての喜びを

ワンストップの総合窓口を整備し、家庭における子育ての不安や孤立感を和らげ、保護者が楽しさや喜びを実感できるようサポートを強化しています。

長期にわたる総合相談体制は、国・県で進めている子育て世代包括支援センター事業の「基本型」をこども支援課で、「母子保健型」を保健センターで一体的に実施し、両課や関係機関で連携しています。

#### 議員の感想(つづやき)

- ・公費負担なしの子育てガイドブック作成は大変興味深い。当町でも検討すべき。
- ・成功へのカギは、サポートの核となる助産師の確保。



官民協働でつくられた子育てガイドブック

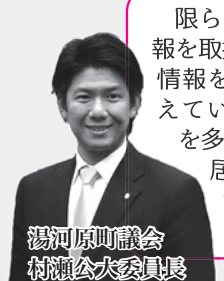


**小川裕子さん (市街地)**  
町に産科がない中、上の子どもの子育てをしながらの核家族の出産は、妊婦の身体的・精神的負担が大きいと感じます。安心して生み育てることのできる行政サービスを期待したいですね。

#### 町民からひとこと

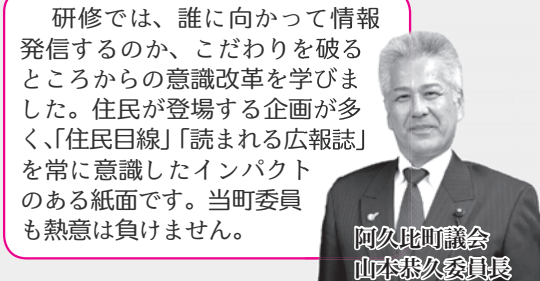
## 視察受け入れで相互に刺激

9月～11月に 来町いただいた議会	9/29 山梨県昭和町議会 11/ 9 愛知県阿久比町議会	10/27 神奈川県湯河原町議会 11/17 岩手県花巻市議会
----------------------	----------------------------------	------------------------------------



限られた紙面の中、提供する情報を取捨選択し、町民が関心を持つ情報を取り上げ、分かりやすく伝えていくと感じました。写真や図を多く使い、見出しも特徴的な寄居町議会だよりの編集は、湯河原町議会だよりに取り入れていきたいものです。

湯河原町議会 村瀬公大委員長



研修では、誰に向かって情報発信するのか、こだわりを破るところからの意識改革を学びました。住民が登場する企画が多く、「住民目線」「読まれる広報誌」を常に意識したインパクトのある紙面です。当町委員も熱意は負けません。

阿久比町議会 山本泰久委員長

議会だより編集のほか、視察来町に委員会で対応し、活発な議会広報の意見交換をしました。

議会広報作成の熱意に感服。住民が多く掲載され、読者には非常に身近な広報誌となっていることを肌で感じました。議会だよりもっと身近なものであるために何が必要かを問い、花巻市議会も手に取っていただけの広報誌を築きあげていきたいと思っています。



花巻市議会 高橋 勲委員長

## 県から説明受ける 安心・安全の確保を

埼玉県資源循環推進課長から環境整備センター13号埋立地について、説明を受けました。遮水シートの漏水感知、破損状況などの質疑、補修状況の報告があり、関係者との情報共有、原因究明を進め、安心・安全の確保をという意見もありました。

### 第6次三ヶ山地域開発 調査特別委員会 (調査日10月2日)

### 議会広報誌の編集・発行 その他議会の広報・広聴

### 議会広報広聴特別委員会

(\*1) ネウボラ…「相談やアドバイスの場」を意味するフィンランド語。妊娠から出産、子どもが就学するまで、切れ間なく子育ての不安や悩みを相談し、支える場所を整えるなど自治体の包括的な支援制度。